

## 企画書

### ○タイトル

めっちゃ、キスする。(仮)

### ○作品概要

弊サークル前作「逆転ビジネスホテル 〜ドスケベ OL をつよつよちんぽでやっつけるお話〜」( [https://www.dlsite.com/maniastouch/work/=/product\\_id/RJ343131.html](https://www.dlsite.com/maniastouch/work/=/product_id/RJ343131.html) )

(以下「前作」と表記)と同一のキャラクターを用いた作品。

前作の後、婚約し同棲を始めた二人が過ごす甘々なある週末の一日を描く。

※前作のキャラクターを引き継いだ作品ではあるが、そもそも前作にストーリー性がない点、本作単体で作品として成立している点より、プロモーション段階では前作との関連性について一切触れず、単体の完全新作として宣伝を行う。

### ○作品コンセプト

#### ●キス

声優様の巧みな水音演技を徹底的にフィーチャー。

バイノーラル収録と技巧を凝らしたキス音の数々で、バリエーション豊かなキス表現を目指す。

日常会話の最中に細かくキスを挿入する、行為の最中にキスで口を塞がれながら喘ぐ等、あらゆるシーンにキス音を添える。

特に、下記5種類のキス表現に力を入れる

1. バードキス (唇の先で軽く、複数回行うキス)
2. ニプルキス (舌で相手の唇を舐める)
3. ピクニックキス (唇をつけず、お互いの舌のみで触れ合う〜絡める)
4. スロートキス (相手の舌を吸い上げる/相手に舌を吸い上げられる)
5. ディープキス (口の中で舌を絡める)

※上記5種のみ、台本内のト書きにおいて「キス」とは別にそれぞれ記載しています。

バイノーラル収録を活かし、口以外にも耳舐め、首筋舐め、乳首舐め、フェラチオ等のシーンにも力を入れる。

一部シーンを除き、水音演技中は基本的に有声音や鼻息などをやりすぎなぐらい多めに挿入していただきますようお願いいたします。

### ●過去の想起

開幕時点で婚約済みの恋人同士という設定を逆手に取り、会話シーンでのやり取りを用いることで過去の性生活をリスナーに想像させてエロスを掻き立てる。

### ●マリッジブルー

隠しテーマとして、「不妊に起因するマリッジブルー」を採用。

甘々なシーンの数々にほんの少しだけ差し込まれる不穏さと、ヒロインの悩みや焦燥感が表出する後半で作中の空気感にメリハリをつける。

### ○キャラクター

#### ●あなたの恋人

- ・前作ヒロインと同一のキャラクター

前作出演のご相談時に指定した内容を添付します。

- 
- ・20代後半。氏名不詳（ワンナイトラブ作品の為）。

- ・丸の内 OL。仕事は極めてできる女。

- ・普段はクール且つスマートだが、性豪という裏の顔あり。

- ・本作のように、若い男の子を逆ナンしてはホテルに連れ込み食い散らかす。

・一見悪女のようなキャラクターだが、純粋に SEX が好きでこの状況をセッティングし、楽しんでいるタイプ。

・年齢設定的には大人の女性だが、「妖艶なお姉さん」ではなく「学生時代小悪魔だった少女がそのまま大人になった」イメージ。

- ・数年前の深田○子あたりが非常に近いです。

・ビジュアルも声も、「小悪魔」「かわいらしさ」をベースに「できる女感」「大人っぽさ」を纏わせる方向性で考えています。

- ・声色は高め。

・男性器の呼称は「おちんちん」派だが、聴き手の好みに合わせて作中では「おちんぽ」がメイン。

- ・聴き手側を意識できないほど夢中になっている状況に限り「おちんちん」が出る。

一人称は「私（わたし）」と「お姉さん」を併用。

---

- ・前作より 1～2 年後を想定。

- ・同棲を始めて 1 年程度。

・恋人期間の長さからくる気安さと、付き合いたてのようなラブラブ感を両方備えているイメージ。女性→男性へ甘える構図が多めです。

・前作と比較してわずかに落ち着いた雰囲気。

・キャラクター性は下記の通り

1. ナチュラルな日常感。
2. 年下の恋人を手玉にする、からかい上手な小悪魔感。
3. 強く出られたり、男性器を挿入されると一転守勢に回るマゾヒスト感。

上記3種類が場面に合わせてスムーズに切り替わっていく。

・聴き手の事が好き。とても好き。どうしようもないほど好き。

一日でも早く愛の結晶を授かりたい。が、一向に妊娠しない。

そのことに対し芽生えた焦燥感が、現在の彼女のパーソナリティに影を落としている。

作中では終盤とその他ごく一部のシーン以外でこの面が顔を出すことはないが、本作における彼女のキャラクター性の根幹の部分には常に根を張っている。

・一人称は「私」で統一。

・男性器の呼称は「おちんちん」派だったが、聴き手の影響で「おちんぽ」派になった。

・容姿についてはジャケットイラストラフの確認をお願いいたします

## ●あなた

前作の聴き手と同一のキャラクター。

不器用。

## ○トラック詳細

### 1. 「0時45分／ピロートークでキス」

情事の最中からスタート。終了後のピロートークがメイン。

正常位の状態から聴き手側がヒロインの左肩側に倒れ込み、その体勢からお互いに顔を見合わせている、というのが基本ポジション。

そこから目線を外したり、聴き手側が状態を起こしたり、といった変化をつけるイメージです。

10P「ピルとか、もう～」のくだりは後の布石になります。

はっきりと不穏。でもさらっと聞き流せなくもない、という塩梅でのお芝居をお願いいたします。

## 2. 「8 時 00 分／お目覚めとキス」

ベッドを上空から見て、左側に聴き手、右側にヒロインという位置関係で向き合っている状態が基本ポジション。

男性主導でのバードキスが多めです。

13P～15P は、寝起きで頭がまわっていないヒロインが布団の中でじたばたしながら照れる、というシーン。

グラビアアイドルのイメージ DVD 等で稀に収録されているシチュエーションがモデルです。

16P 以降は基本的に覚醒していますが、シチュエーションとしての寝起き感は維持していただきますようお願いいたします。

20P、「そりゃあ、どうせ？～」は後の布石です。

ただし、露骨に不穏さは出さず、後から聞き返した際に気付ける程度のニュアンスで。

## 3. 「11 時 55 分／昼食前の、おちんぼキス」

序盤は、聴き手がヒロインを後ろから抱きしめて、ヒロインの左肩越しに会話をしている形が基本ポジションです。

以降は聴き手が直立状態でのフェラチオパート。

恥垢舐めとり、ピストンフェラ、喉奥に男性器を迎え入れたうえで静止するシーン等。

36P「ほんとに受精するかも～」は後の布石ですが、多少の含みは持たせつつも不穏さは控えめという程度。

## 4. 「20 時 20 分／夜のまったり時間とキス」

飲酒により酔っぱらった状態で進行。

ソファに隣り合って座り、正面から見て右側に聴き手、左側にヒロイン。

ト書きに「酔い〇%」と記載。酔いの進行度を感覚的に表しています。

トラック 2 序盤における寝起きの半覚醒状態と近いお芝居になるかと思いますが、何卒演技分けをお願いいたします。

酔いも相まって、全幅の信頼で聴き手に体を預ける、聴き手に甘えるといったシーンが多いです。

それに付随して、“聴き手と二人きりの時以外は飲んでも酔えない”という設定を付与。

ピクニックキス、スロートキスが本格的に登場。特にスロートキスは挿入シーンへのトリガーになっています。

## 5.「君の現実を 君は生きてる」

時間帯は深夜。

過去 4トラックで仄かに演出されていた若干の不穏さについて、ヒロインの内面が露見するトラック。

不妊や結婚への不安といったヒロインの隠された悩みに直面し、聴き手がそれらを無数のキスと睦言を用いて真正面から解きほぐそうと試みる内容。

過去 4トラックからは明確に雰囲気を一変させ、リスナーの感性にストレスをかける。

言葉よりも間と呼吸と空気感を重視。

大人ならではの回りくどさや察しあいを表現するため、台詞は意識的に削り、残った内容もあえて芯から外しています。

少ない言葉からニュアンスで情景や心理を汲み取れるようなお芝居をお願いいたします。

大人同士の会話や感情表現となるため、涙声まで踏み込んでしまうのは避けてください。

(大人は自分の事では泣かないため)

## 6.「27 時 30 分／真夜中と、睦みあいと、キス」

トラック 5 を経て以前より心の距離が縮まった二人による、まるで初体験のような SEX。

前作も含め、全く描写のなかった“聴き手の顔を見て照れる”というシーンを多く盛り込んでいます。

トラック 4 と比較すると特に序～中盤は静のシーンといった趣が強いです。

トラック 5 の空気感を引き継ぎつつ吐息などが多めに入り、深夜感も含めて気持ちローテーションといった塩梅。

終盤に差し掛かるにつれてエンジンがかかっていきます。

ピクニックキスからディープキス、ニブルキスから首筋舐め、右乳首舐めから左乳首舐め、のように水音表現がシームレスに遷移していくシーンが多いです。

ヒロインの心情に関しては、トラック 5 を経たことで不妊や結婚への不安といった悩みが解消した……**わけではない**、という点がポイント。

悩みや不安は依然としてあり何も状況は変わっていないが、今まで以上にお互いのナイーヴな部分をさらけ出し、気持ちを確かめ合ったことで愛情も深まっている状態。

むしろ感情的には最もぐちゃぐちゃしており、前トラックを経たことでその辺りの揺れ動きがより表面に出やすくなっています。